日本共産党区議会議員団　2023/1/15　No.1458

相馬ゆうこの 南千住レポート

まちづくり・くらしの情報を届けます

区議団控え室　荒川区荒川2-2-3区役所内5階　☎3802-4627
FAX:3806-9246／メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所　荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192
jcp-arakawakugidan.jp/
ツイッター @m1010_yuko
araken-nan.jugem.jp

2023年成人式「二十歳のつどい」を開催

１月９日㈪、区の「二十歳のつどい」がサンパール荒川で行われました。

区HPより

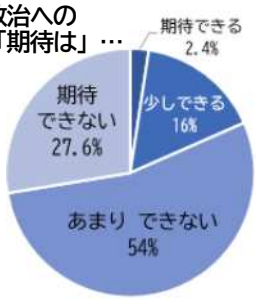
昨年の民法改正で成人年齢が20歳から18歳に引き下げられ、荒川区は「成人の日のつどい」から「二十歳のつどい」に名称変更し、これまで通り20歳の方を対象に実施。新型コロナ感染防止のため、出身中学ごとの２部制として、第１部415名、第２部529名、計944名が参加しました。

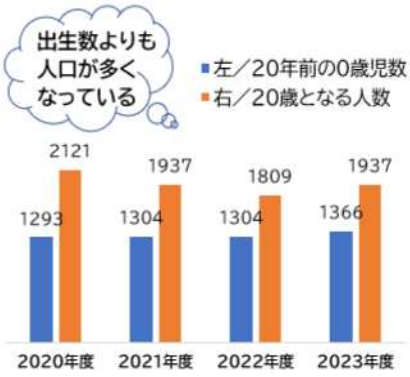
7月から月2回、実行委員会も。お疲れさまでした

今年度20歳を迎える区内の方（2002年４月２日～2003年４月１日生まれ）は1,937人（男1,007・女930）で、昨年度より128人増加。2014年度（1,735人）が過去最少、20年度に2,121人までふえましたが、近年は再び減少傾向です。

若者が希望をもてる日本に

20歳を迎える方のうち区内で出生されたのは毎年1,300人前後、600人ほどが転入されているようです。地方に就職・進学先が少なく、都内など首都圏に若者が転入せざるをえないことが、少子化の一因になっているそう。20歳のみなさんに政治に「期待する」かどうかの調査では、期待できる18.4%、できない81.6%と残念な結果。若いみなさんが未来に希望をもって生きられる日本を、みんなで作りたい。



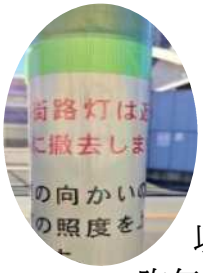


生まれた２００２年はどんな年？

〇小泉首相が北朝鮮訪問、拉致被害者の５名が帰国〇イラク・フセイン政権への米英の軍事作戦が一触即発に〇雪印・日ハムなどが食品偽装〇モスクワ劇場襲撃事件やバリ島で爆弾テロなどが発生し、不穏な世界情勢に〇多摩川にアザラシのタマちゃんが出現〇小柴さんがノーベル賞受賞〇「ハリーポッターと賢者の石」が200億円超、本もベストセラーに〇邦画では「猫の恩返し」が64億円〇浜崎あゆみのHがヒット〇宇多田ヒカルがトラベリングなどヒットを連打。

街路灯の「撤去」～LED化や安全対策は

南千住７丁目と汐入地域を結ぶ、隅田川沿いの区道の街路灯に「撤去のお知らせ」が。



「この街路灯は近日中に撤去します。この向かいの車道側の街路灯の照度を上げています」とのことですが…

今回撤去となる街路灯は、40年以上前に設置された「水銀灯」で、昨年末からすでに使用中止に。灯具と本体が一体化しているため、灯具のみの交換ができないそうです。区は「車道側の照明をＬＥＤに交換済みで、歩道の明るさは保たれている」としていますが、夜間の安全対策など気になることがあれば区に相談します、ご連絡下さい。

区の街路灯、２割が「水銀灯」

環境汚染や健康への懸念が高まり、水銀はほとんど使われなくなりました。私が子どもの頃はまだ体温計も水銀で、親から「絶対割らないように」と言われたことを思い出します。

区が管理する街路灯8,850基のうち８割はＬＥＤに交換されていますが、２割（1,849基）は水銀灯等のまま。区は年間300基程度を交換する計画で、すべてＬＥＤとなるには後６年ほどかかるようです。ＬＥＤに替えると虫が寄りつかない、寿命が長い、電気代も年間で30～50％低くなるそうで、交換が迅速にすすむよう支援したい。道路の安全対策もすすめていきます、ご意見お寄せください。

「都の〝おこめクーポン〟どうなったの？」

昨年11月にお知らせした都の「おこめクーポン」について、「いつ始まるの？」とご意見頂いています。

対象は都内の非課税世帯（174万世帯）に１世帯あたり１万円分のお米や野菜など希望する商品を自宅へ配送する計画。はがきか専用サイトからの申し込みが必要で、実施は２月頃を予定しているよう。詳細が分かり次第、またお知らせします。

今年も物価は、４月までに7,000品目以上の値上げが決まっており、もう限界。国は、軍事費より経済とくらし支援に予算を増してほしい。

〈法律・生活相談〉
２月の定例法律相談日は ９日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第二木曜午後６時からですが、平日の午後に法律事務所（北千住）でも可能です。

お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所　南千住５－１－６－２階　☎３８０７－４１９２

公立小中学校の給食無償化、来年度3区が実施

公立小中学校の給食無償化が23区でも広がっています。葛飾区は、来年度から各世帯の子ども数や所得に関わらず給食の完全無償化を実施すると発表。北区、品川区も来年度からの実施を表明。

東京新聞の調査では、学校給食の完全無償化について、23区のうち「前向きに検討」が台東、足立など４区、実施の可否も含め「検討中」が６区、「実施予定なし」が10区という結果に。荒川区は残念ながら「実施予定なし」と回答したようです。

来年度、学校給食の完全無償化を…

実施の予定	葛飾、北、品川
前向きに検討中	台東、中央、足立、世田谷
検討中	江戸川、豊島、中野、杉並、渋谷、新宿
実施予定なし	荒川、板橋、大田、江東、墨田、千代田、練馬、文京、港、目黒

現在は

- **足立、北**… 第２子半額、第３子以降無償化
- **葛飾、品川**… 第３子以降無償化
- **台東**… １～３月まで完全無償化

「検討中」も10区、荒川区は…

実施を予定している葛飾、北、品川の３区は、現在も独自に「第２子は半額、第３子以降は無償」などの補助を行っており、来年度からすべての子どもに支援をひろげる計画です。また、世田谷区は就学援助を拡大し「年収760万円以下の世帯の子どもは無償」としており、公立小中学校の子ども３分の１が対象に。台東区は、物価高騰対策として今年１～３月分を無償化しています。両区とも、完全無償化についても前向きです。

予算の0.5%で実施が可能

「子育ては社会全体で（葛飾）」「すべての子育て家庭の負担を減らす（品川）」と次々と各区が決断しています。荒川区の無償化に必要な予算は全体予算の約0.5%、財政的にも十分可能です。

現在は、就学援助制度で低所得世帯への補助がありますが、対象が限定され、申請に心理的なハードルもあります。日本共産党区議団は義務教育の無償化や少子化対策としても早期の実施を、と繰り返し区議会で提案（下表）。荒川区も国・都任せではなく決断を。あと一歩、実現へみなさんと一緒に頑張ります。

10年間で13回、無償化を提案してきました

【区議団の提案】		区の答弁など
2012年11月会議	本会議で質問	「学校給食法により保護者が負担とすることとされており、無料化は難しい」
2014年２月会議	条例を提案	反対多数で否決　「食べる部分には一定自己負担が当然必要（自民）」「国・都がやるべき（公明）」
2015年２月会議	条例を提案	反対多数で否決　「食材費は保護者の方からいただくというのは、やはり適切（自民）」「必要な方には、就学援助で支援がなされている（公明）」
2016年２月会議	条例を提案	反対多数で否決　「財源の問題というのは慎重に考えざるを得ない（公明）」
11月会議	本会議で質問	「食材費等の経費につきましては、保護者が負担するという考え」
2017年９月会議	本会議で質問	「食材費などにつきましては、保護者の負担としている」
2018年２月会議	本会議で質問	「多額の経費が必要であり、自治体独自ではなく、国の政策として広域的に実施することが望ましい」 ※公明「無償化を促進するよう東京都に対し訴える時期に来ている」と質問
2018年９月会議	本会議で質問	「多額の経費が必要であり、自治体独自ではなく、国の政策として広域的に実施することが望ましい」
2019年２月会議	本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
９月会議	本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
2020年11月会議	本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
2021年６月会議	本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策として広域的に実施することが望ましい」
2022年９月会議	本会議で質問	「独自の施策ではなく、国や都の施策としてその財源において広域的に実施することが望ましい」 ※公明「第３子以降の無償化を」と質問、区は「多子世帯への負担軽減が図れるものとして認識、方針を検討する」

「区政世論調査」から～南千住をもっと住みよく

昨年９月に行われた「区政世論調査」の結果報告がありました。「区政世論調査」は毎年、区内の満18歳以上3,000人へ質問表を郵送、回答は郵送、インターネット、持参で受け付け。年代や居住地域など住民基本台帳をもとに、統計的に有意な方法で行っています。今年は1,363件の回答があり、回収率は45.4%でした。

自由記入の中から、南千住地域の方のご意見をご紹介します。

交通

都バスやＪＲで南千住から浅草や上野方面には出かけやすいが、区内の移動がしづらく、町屋・尾久方面に手軽に出かけることができない（20代）

南千住駅付近から荒川区役所までの交通網が少なく、徒歩20～25分もかかる。できればバスがほしい（20代）

若い方はさくらバスを知らないかも？興味深いです

コミュニティ

引っ越して１年経ちますが、同じ年代の方と知り合う機会もなく、どこかのコミュニティに属することもなく、病院等や区政の情報も手に入りづらい。住み続けるには不安なので、土日に成人用の講習等をふれあい館でもっと開いてほしい（50代）

荒川で生まれ育ち、結婚してもう70年以上経ちました。下町の温かな人たちに囲まれて楽しく過ごしていますが、マンションがふえ下町風情はなくなりつつあります。魚屋さん、酒屋さん、お豆腐屋さんなど商店がなくなりました。スーパーで買い物すればすべてが揃いますが、何か寂しい（70代）

利便性

南千住にメガバンクのＡＴＭがほしい。コンビニＡＴＭは手数料が高く、テレワークで給与を下ろすのに電車に乗って足立区まで行っています…　（40代）

などなど…

区議会でも、みなさんの思いに応えて頑張りたい。

ご意見・ご質問頂きました　〇年明けから国保料に関する相談がふえています。コロナ禍も3年目、仕事への影響も続いて、あまりに高すぎる国保料を何とかしたい!税金や保険料の支払いで生活に支障が出るなんておかしい。〇「来年度から東京都が子どもひとりに毎月5,000円支給すると聞きました。ありがたいけれど、教育にかかるお金を考えると優先順位は?」との声も…国は昨年10月に児童手当の特例給付（5,000円）を一部廃止、岸田首相は「異次元の少子化対策」というなら最初から削らないでほしい。国も都も実効性のある少子化対策を。